

(別紙4(2))  
目標達成計画

事業所名 わかばの家 河原  
作成日: 令和4年2月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(3)	運営推進会議に地域の委員の出席がありません。	委員全員が出席しての運営推進会議の実施に努める。	運営推進会議委員の都合により日程調整を行い、委員全員が出席できるよう取り組む。	2ヶ月
2	(5)	利用者の安全配慮を理由に、一部ベッド柵が施されています。	ベッド柵の設置の必要性について、再検討を行う。	ベッド柵の設置が必要不可欠なものかどうか、再度検討を行いできるだけベッド柵を施さない支援の検討を行う。	3ヶ月
3	(6)	家族へ保佐人を通じての連絡が円滑に行かない例がありました。	成年後見制度の担当者との連携を密にする。	成年後見制度の担当者との連携を密にする。	3ヶ月
4	(13)	災害時の準備物や保管場所に物品があり、初動の遅れが危惧されます。	持ち出し袋や避難時の必要物品保管場所を整理する。	実際の災害時を想定した避難経路を確保する。	1ヶ月
5	(18)	コロナ渦により、外出がほとんど行われていません。	感染防止に留意し、外出の機会を設ける。	少人数でのドライブなど、日常的な外出が行なえるよう継続的な外出の機会を計画する。	3ヶ月
6	(19)	事業所内の共有空間は空調により快適に過ごせる状況であるが、居室は利用者が入室時にエアコンを付けています。また、トイレには空調設備がなく、ヒートショックが懸念されます。	事業所内は常に快適な空間となるよう、温度、湿度を確認し、どこも同じ環境となるようにする。	利用者の生活パターンを確認し、移動先の環境調整(温度・湿度等)を整えておく。必要な機器類の設置や管理を行う。	3ヶ月